



「関西ブロック安全大会2020」開催

“「私たちは過去の事故を教訓に類似事故を絶対に起こしません」ヨシ！”
 —NTTグループと通信建設会社による合同開催—

情報通信エンジニアリング協会 関西支部

はじめに

2020年9月24日、「関西ブロック安全大会2020」が関西エリアのNTTグループ5社、通信建設会社5社、ITEA関西支部の計11社により合同開催されました。

今回は新型コロナウイルス感染症対策で、WEB会議や動画配信サービスを活用したりリモート形式での開催となりました。

目的は、関西で発生している転落事故／短絡・地絡事故防止に向けた事故再現、危険体験に加え、関西以外で発生した事象を参考に、事故を防ぐために必要な「基本ルール」を再確認し安全確保の充実を図り、事故を起こさない意識の浸透を図ることです。

開会にあたり、NTT西日本 関西事業本部長 上山圭司様（写真1）から、『今回の安全大会はコロナ禍の真ただ中、初めてのリモート開催とさせていただきます。』



写真1 開会挨拶
 上山 NTT西日本 関西事業本部長
 (WEB会議システムでご参加)

た。体感はできないが、想像力を高め参加してほしい。

専用ポータルサイトも立ち上げ、後日でも視聴できるようにしているので、1人でも多くの方にご参加いただきたい。

新たな試みでもあり、色々な改善点が視えてくと思うが、NEWノーマル時代に相応しい安全大会とは何かをこれからも引き続き考えていく。』との、コロナ禍でも新たなスタイルで取り組んでいく姿勢を示された。

『今年も各地で災害が発生し、豪雨・台風で九州が大きな傷を受け、関西から「恩返し支援」で災害復旧に携わっている皆様、その期間中、職場を守っている皆様に、改めてこの場を借りて御礼を申し上げる。』

また、新型コロナウイルスは、辛抱強く付き合っていくことになると思うが、マスクをつける、うがい、手洗い、消毒、ソーシャルディスタンスを保ち「うつらない、うつさない」を合言葉に新しい生活様式を心がけて欲しい。』と、例年発生する災害対応への労いや感染症予防についても述べられた。

『事故については昨年度、西日本エリアにおいて10件の人身事故が発生し、うち1件は死亡事故と言う状況であった。』

今年度（9/24現在）は西日本エリアでは昨年度を上回り、事故が止まらない状況にある。

安全作業の最も重要なことは「基本動作の徹底」と「立ち止まる勇気、止める勇気」だ。参加いただいた方全員が「安全が何よりも優先する」という思いを持って、さまざまな対策、安全を先取りする職場風土を一緒に作りあげ、関西において「人身事故“ゼロ”」を達成し

ていきたい。』との開会挨拶がありました。

引き続きNTTグループ、通建会社代表者2名（写真2）による安全宣言があり、安全大会が開始されました。

大会の実施内容

大会では、事故の恐ろしさ・悲惨さを疑似体験するため、NTTグループ・通信建設会社で発生した「事故再現」

と再発防止に向けた「基本ルールに則った再発防止策」の紹介や事故の衝撃や強風を体感する「危険体感」、安全ツール、事故防止ツールを紹介する「ツール紹介」、事故を起こさない意識の浸透のため「安全アーカイブ」のコンテンツで構成し、表1の内容で実施しました（表2-1、表2-2は、実施内容の詳細）。



写真2 安全宣言（NTT新京橋ビルからの中継）
NTTインフラネット 三木原 芹奈（右）
日本コムシス 山下 直也（左）

表1 実施内容

関西ブロック安全大会2020 実施内容	
<p>関西ブロック安全大会2020 映像配信</p> <p>ポータルサイト</p>	
<p>＜開会式＞</p> <p>＜オンライン＞ 9/24 13時～15時</p> <p>＜WEB視聴＞ 9/24 17時～10/16時</p>	<p>＜事故再現＋基本作業実演＞ 最近発生した重大事故の再現に加え、それを防ぐための基本作業・安全対策を実演 ①梯子からの転落事故 ②短絡・地絡事故</p> <p>＜危険体感＞ 実作業で起こりうる事象を体感し、基本作業、動作の重要性を理解してもらう ③バケット車逃走再現 ④大型ハリケーンプァンによる強風体感 風にあおられ梯子と共に転倒事故（2020/6 千葉）</p> <p>＜閉会式＞</p>
<p>＜安全関連ツールの紹介（各社の展示）＞</p>	
<p>＜安全関連ツール紹介＞</p> <p>＜WEB視聴＞</p>	<p>（通建建設会社：6社・ツール提供会社：18社） 四連会社等の安全に関するツール等をサイト上で紹介 ①作業安全ツール 融着接続器等 ②事故防止ツール 転落防止器具・工具等 ③フルハーネス等</p>
<p>＜安全アーカイブ＞</p>	
<p>＜安全アーカイブ＞</p> <p>＜WEB視聴＞</p>	<p>＜安全アーカイブ＞ ～事故を起こさない意識の浸透～ ①墮落落下 ②転落事故(梯子) ③転落事故(道路横断架渉) ④感電事故(所内) ⑤飛込まれ事故</p>
<p>＜アンケート＞</p> <p>＜アンケート＞</p>	<p>＜アンケート＞</p> <p>＜WEB回答＞</p>

表2-1 実施内容の詳細（事故再現）

事故再現	① 梯子からの転落事故	
	<p>電柱に梯子を立てかけ、ヘルブロックを取り付けて昇柱し、検電後、安全帯の親綱フックを外して片手に持ったまま梯子を昇ろうとしてバランスを崩して転落、負傷した。</p> <p>【模範演技】 フルハーネス型墜落制止用器具着用による模範演技の実施</p>	
事故再現	② 短絡・地絡事故	
	<p>電気通信設備工事中の感電、短絡事故の怖さを実験設備を使用し事故再現を実施した。</p> <p>【短絡事故の防止策】 短絡事故を防止するため基本ルールに則った養生による防止策の紹介</p>	

表2-2 実施内容の詳細（危険体感、ツール紹介）

危険体感

③ バケット車逸走再現



④ 大型ハリケーンファンによる強風体感



安全関連ツール紹介

	社名	紹介ツール
1	アイチコーポレーション	スカイマスターSH-SK10/11Cシリーズ特徴紹介編
2	タダノ	通信工用高所作業車、カーゴクレーン
3	NTTレンタル・エンジニアリング	REC's GAJUMARU、どこでも"me" REC
4	大東電材	低圧手袋・端子函・AOクロージャ用仮設シート、クロージャ用防護シート、プリント養生テープ、LED投光器
5	藤井電工	フルハーネス、架渉用金車
6	日本コンクリート工業	ボール製品、人を想うラボ
7	ヨツギ	SSケーブルキンシチョウTYPE-II、水冷クールベストLite、アイビーガードSLIM、ムレイン99
8	マサル工業	GIGAスクール用モール、ザ・鳥獣害対策「トゲつきシート」
9	電電広告	ウォールウォッチャー、カラーコーン用立体表示カバー／表示カバーMIMINI
10	住電オプコム	現地組立型コネクタ(外被把持型波長選択ターミネーション)、オブクリーン100
11	泉州電業	遠隔支援システムnvEye's®"エヌヴィ"、電気通信材料及び災害対策品
12	美貴本	遠隔支援ツール M400
13	中央労働災害防止協会	職長の能力向上教育テキスト、令和2年度 労働衛生のしおり
14	通信土木コンサルタント	埋設管路・ケーブルの防護—セラミック防護板「チタンガード」、小型橋梁点検システム「ドローンによる橋梁設備点検」、溜まり水排水装置「エドレイン」
15	住友電気工業	小型融着器 TYPE-201+シリーズ、多心光ファイバ融着接続器 TYPE7 2Mシリーズ、ホットジャケットリムーバJR-6+、ハンディ光ファイバカッター FC-8Rシリーズ、高性能型光キャッチャ装置
16	東名通信工業	メタル線路故障位置探索器FL-Xs、災害用伝言ダイヤル訓練機cute
17	NTTインフラネット	MMS(Mobile Mapping System)道路冠水対策(GAIAFITS®)
18	ITEA関西支部(土木部会)	交通誘導員の機械化(ロボットガードマン)
19	株式会社ミライト	引上管固定金物、道路横断用金物
20	株式会社 協和エクシオ	サバイバル電源、テーパーライトLED保安柵
21	日本コムシス株式会社	3AOクロージャ蓋割れ 即時補修シート、電柱折損等セーフティシート
22	日本電通株式会社	排水ホース巻き取り器
23	株式会社ミライト・テクノロジーズ	ストランドアース(地気線引戻)工法の固定方法の改善、SSケーブル捻回挿入工具の開発
24	新コスモス電機株式会社	マルチ型ガス検知器 XP-302M

・ツール提供会社：18社
・通信建設会社：6社

安全アーカイブ



各会場での視聴模様 (2020年9月24日)



WEB配信用映像の事前撮影模様 (2020年8月24日～26日 NTT西日本 旭ビル)



本日、視聴できていない方々にも、ポータルサイトを開設し10月16日まで視聴いただけるので、皆さまからもお声かけをお願いします。

我々の仕事の中で、事故がなくなることを祈念し、閉会の挨拶とさせていただきます。ご安全に。』との閉会挨拶があり、全員で安全スローガンの唱和 (写真4)

おわりに

閉会にあたり、ITEA関西支部 遠竹 泰支部長 (写真3) から『初めてのリモート形式で、どのような安全大会になるか少し不安なところもあったが、何とか終わったと思う。

現地での事故再現・体感とは違い、皆様も、さまざまお感じになったことがあると思うが、コロナとの戦いは当分続き、来年以降もこういう形式での開催が想定されるので、感じられたことなど、ぜひ建設的なご意見をいただきたい。

安全大会の内容もそうだが、皆様が目まぐるしい仕事で感じているヒヤリハットの体験もあらためて認識し、基本動作の大切さ、安全についてももう一度考える契機とし、仕事に活かし安全作業の実践をお願いしたい。

を行いました。

今回の大会を契機として、「人身事故」「設備事故」が防止され、NTT様はもとより、お客様に対して「きちり工事」がお届けできる通信建設業界を目指すことを誓い合い閉会しました。

アンケートでは1700余名の回答をいただき、WEB開催に対し「場所によらず、時間調整が効き便利でした。コロナ渦の中でもこういった取組みで開催されたことがとても良い」とのコメントを多数いただきました。

いただいたご意見については、今後の安全大会の新たなスタイルをNTT西日本様と模索・検討していくことといたします。

本大会に大変お忙しい中ご参加いただきました皆様には感謝申し上げますとともに、大会の諸準備、運営にご協力いただいた関係各位に対して心からお礼申し上げます。



写真3 閉会挨拶
遠竹 ITEA関西支部長
(WEB会議システムでご参加)



写真4 安全スローガン唱和 (NTT新京橋ビルからの中継)
NTTファシリティーズ 仙波 宏章 (右)
協和エクシオ 藤田 健 (左)